

# 増税で歯科医療危機加速

## 中止・撤回とゼロ税率求める

### 消費増税の行方と「損税」

#### 富本昌之経税部長に聞く

消費増税が社会保障の拡充につながらないことが明らかになるなか、増税撤回を求める声が大きくなっている。景気後退や「損税」、患者数の減少を引き起こす消費増税の行方について、富本昌之経税部長に語ってもらった。



「損税」額は年間39万円と試算しており、10%になれば78万円に倍増する。医院経営を圧迫する

### 患者負担なく「損税」解消

消費増税の「損税」問題を解消するために、協会や保団連は医療への「ゼロ税率」の適用を求めている。「ゼロ税率」が実現すれば、仕入れにかかった消費税分は国から全額還付され、「損税」は発生しない。

民主・自民・公明3党が決めた消費増税は、歯科医療機関に重大な影響を及ぼす。診療報酬は非課税のため、医療機器や歯科材料にかかる消費税は「損税」として、すべて医院の持ち出しになる。

日本歯科医師会は、税率5%で一医院当たりの

ことは目に見えている。

消費増税で国民生活が悪化すれば、受診抑制に拍車がかかり、治療中断や未受診がさらに増加する。「損税」と患者数の減少のダブルパンチで、歯科医療危機が加速する

「損税」額は年間39万円と試算しており、10%になれば78万円に倍増する。医院経営を圧迫する

### 患者負担なく「損税」解消

消費増税の「損税」問題を解消するために、協会や保団連は医療への「ゼロ税率」の適用を求めている。「ゼロ税率」が実現すれば、仕入れにかかった消費税分は国から全額還付され、「損税」は発生しない。

民主・自民・公明3党が決めた消費増税は、歯科医療機関に重大な影響を及ぼす。診療報酬は非課税のため、医療機器や歯科材料にかかる消費税は「損税」として、すべて医院の持ち出しになる。

日本歯科医師会は、税率5%で一医院当たりの

引き下げる仕組みだ。仕入れにかかる消費税は、窓口で患者から預った消費税から差し引くことができるので医院の持ち出しはなくなる。しかし、「損税」は解消しても、患者にしてみれば「保険診療」にも消費税がかかることが重要だ。

「損税」は解消しても、患者にしてみれば「保険診療」にも消費税がかかることが重要だ。

「損税」は解消しても、患者にしてみれば「保険診療」にも消費税がかかることが重要だ。

### 1カ月分の給与吹き飛ぶ

消費増税による国民生活への打撃は深刻だ。大和総研の試算では、税率を10%に引き上げた場合、年収500万円の4人世帯で年間約16万7千円の増税になる。子ども手当の削減や年少扶養控除の廃止、厚生年金保険料の引き上げなどを合わせると、年間約34万円の負担増だ。

消費増税による国民生活への打撃は深刻だ。大和総研の試算では、税率を10%に引き上げた場合、年収500万円の4人世帯で年間約16万7千円の増税になる。子ども手当の削減や年少扶養控除の廃止、厚生年金保険料の引き上げなどを合わせると、年間約34万円の負担増だ。

消費増税による国民生活への打撃は深刻だ。大和総研の試算では、税率を10%に引き上げた場合、年収500万円の4人世帯で年間約16万7千円の増税になる。子ども手当の削減や年少扶養控除の廃止、厚生年金保険料の引き上げなどを合わせると、年間約34万円の負担増だ。

消費増税による国民生活への打撃は深刻だ。大和総研の試算では、税率を10%に引き上げた場合、年収500万円の4人世帯で年間約16万7千円の増税になる。子ども手当の削減や年少扶養控除の廃止、厚生年金保険料の引き上げなどを合わせると、年間約34万円の負担増だ。

### 命の最後の砦

#### 理事長・小澤力



大阪府は、「財政構造改革プラン」で、これまで5年間支出してきた千里救急センターへの補助金(支援事業・年3億5

千万円)を廃止しました。府立泉州救急センターを2013年度から、りんくう総合医療センター(旧市立泉佐野病院)に移管・統合することや、府立中河内救急センターの運営形態の見直しを打ち出しています。この大阪府の動きに対して、各救急センターの

大阪府が救命救急センターに対する補助打ち切りや、移管・統合を示していることを受け、協会は三次救急医療を守り、拡充させるために請願署名に取り組み。署名は、医療従事者や地域の労働組合などとする大阪医療問題連絡会が20万筆を目標に集めている。署名用紙は今号に同封し、11月末を目途に集約する。小澤理事長が協力を呼びかけている。

「第三次救急医療」は、保健医療計画にある大阪府の事業であり、補助金の削減や移管・統合は府としての責任放棄につながるものです。救急センターは「いのち」の最後の砦です。大阪府として府民の命に責任を果たすよう求めますので、会員・家族・スタッフ・患者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。【請願項目】①大阪府は第三次救急医療に責任を持つこと

②大阪府は救命救急医療への補助金の廃止・削減を行わず拡充すること。また、千里救命救急センターへの補助金を復活すること

③大阪府は二次医療圏ごとに医師・看護師確保の具体策を講ずること

(国内総生産)の6割を占める。みずほ総研は税率10%でデフレが進行し、GDPは2・36%下落すると試算している。

### 事業所で無料歯科健診

大阪連絡会



大阪連絡会が4日、加盟団体の関西共同印刷所で無料の歯科健診と健康教室を実施した(写真)。



### 「受診のきっかけになった」

同印刷所での健診は昨年引き続き2度目。山上副理事長は一人ひとりの悩みや質問に答えながら、口腔状態をいねいにチェックした。受診者からは「昨年の健診の際に指摘され歯科医院を受診したおかげで、今年良好な結果だった」などの感想が寄せられた。

厚生労働省は、「医療機関のホームページ」を9月28日公布し、各都道府県知事に通知した。指針は、自由診療を行う医療機関のホームページに掲載されている情報を契機として発生するトラブルを踏まえて、関係団体などによる自主的な取り組みを促すもので、医療機関のホームページに対するものとしては初めて。

元来、人間は排他的なもので、キリスト原理主義とイスラム原理主義に見られる宗教対立がその最たる例だ。音楽は人類の共通言語で、この排他性を乗り越えられそうだが、果たしてそうだろうか。ほかを無視したり、自分を我慢で抑えているとすれば、我慢こそ人間の美徳だろう。

今号にチラシ(下)と署名用紙を同封

**いのちのリストラやめてください**

救命救急医療への府の責任を投げ捨てる大阪府財政構造改革プラン

府民が大阪府政に望むトップは「医療の充実」

大阪府政に望むこと(数字は%)

医療の充実	30.0
子育て支援	25.0
高齢者福祉	15.0
環境対策	10.0
防災対策	5.0
観光振興	3.0
その他	12.0

大阪医療問題連絡会

今号に案内チラシ同封

「口は命の入り口、心の出口」

11月4日(日)午後2時~4時

市民講座

「口は命の入り口、心の出口」

11月4日(日)午後2時~4時

市民講座

「歯界」

誰だったか、「異域同好」という言葉が大好きだと

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)